

蓮沼中鏡

中学生のスマートフォン利用について

★ 急速に普及するスマートフォン ★

ここ2年ほどで、子どもたちのスマートフォン（以下スマホ）利用が急速に進んでいます。内閣府の「平成25年度、青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、小中高の各段階で、平成23年度から25年度の2年間で、スマホの利用者が小中高総数では、5.7→56.8%、中学生は5.4→47.4%と急激に増えています。

スマホの急速な普及に伴って、新たな問題が生じています。特に「長時間利用」と「LINEいじめ」に着目します。

★ 長時間利用とスマホ依存 ★

スマホの普及で、長時間の利用により生活習慣が乱れる傾向があります。内閣府の調査（前出）によれば、18歳未満の青少年について、スマホ利用者

	平日に2時間以上 利用するもの	平均利用時間
スマートフォン利用者	51.1%	132.6分
従来型携帯電話利用者	12.2%	43.4分

と従来型利用者では、上の表のとおり、利用時間の差がかなりあります。スマホと従来型とは、一見、利用できる機能にあまり違いはありません。しかし、スマホはパソコン用サイトの閲覧が自由にできるうえに、豊富なアプリを利用できることから、スマホ利用者のほうが長時間利用につながりやすいのです。スマホでは豊富なゲームアプリや大画面での動画サイト利用、さらにはアプリを活用したSNS等の利用が可能であることから、スマホが日常のすき間を埋め、長時間利用につながりやすくなっています。

スマホの長時間の利用は、学習や睡眠の時間の減少につながると考えられるうえに、ネット依存につながる危険が高くなると考えられます。ネット依存は、単に長時間のネット利用だけでなく、ネット利用から離れられないことによって日常生活に支障が出る状態です。学校や家庭で嫌なことがあってネットに居場所を見つけたり、オンラインゲームから離れられなくなったりして、長時間利用からネット依存に陥ることが考えられます。スマホ利用者には特に適切な生活習慣の維持につとめる必要があります。

★ LINEいじめ ★

LINEは無料通話アプリと呼ばれるもので、基本的に知り合いとの間で通話やメッセージ送信ができるものです。これは、従来型でも利用可能ですが、スマホのほうがはるかに使い勝手がよいものです。

第一に、LINEには既読表示機能があり、受信者がそのメッセージを表示させると、送信者側に「既読」の表示が出ます。これで相手を読んだかが分かるのですが、「既読」となったのにすぐに返信されないと「既読無視」「既読スルー」となり、これは相手に対して失礼なことと受け止められます。ここから「いじめ」につながるといふ指摘が多くあります。

第二に、LINEにはグループチャット機能があり、簡単な操作で3名以上のグループを作り、グループ内でメッセージのやり取りができます。グループでのコミュニケーションには大変便利ですが、このグループから特定の1名を排除した、別のグループを作って悪口を言うことがあります。いわゆる「LINEはずし」です。従来からネットでの仲間外れは生じていますが、常に自分以外の人たちがグループを作って悪口を言っている可能性が高いと感じられる状況が生じていると言えます。

これらのことを防ぐには、未然防止しかありません。フィルタリングをかけることや、日頃から家庭で子どもたちと話し合っておく必要があります。今後も新たなサービスが次々と普及することが考えられ、常に最新の状況を踏まえた指導や注意が必要です。何と言っても、**家庭でのスマホ利用に対する保護者の目が重要**です。

第43回大田区立中学校連合学芸会

音楽の部

音楽の部は、11月5日(水)にアプリコ大ホールにて開催されました。本校からは、合唱コンクールで金賞を獲得した3年C組が出演しました。

蓮中祭で歌った「旅立ちの時～Asian Dream Song～」を発表しました。

3年C組は、この日の午前中に出演した学校の中でも、ステージに上がった人数が最も少ない方にも関わらず、精一杯堂々と歌いきることができました。

合唱は、歌う人・伴奏者・指揮者の心が一つにならないと、よいものになりません。この日、どこの学校も気持ちを合わせて歌っていました。中学生の力の大きさを感ずることのできた1日でした。



英語の部

英語の部は、11月6日(木)に大田区民センターホールにて開催されました。英語の部は、「スピーチ」での参加と「プレイ(英語劇)」での参加があります。本校と大森十中との2校で「プレイ」で参加しました。

英語部4名で「Alice in Wonderland in 2014」を演じました。現代のアリスがワンダーランド存続のために活躍するというお話で英語部で創作したものです。今回、蓮中祭同様、プロジェクターを利用した字幕を映写しての発表を行いました。鑑賞する側にとっては、分かりやすく、最後まで楽しく観ることができ、元気よく演じていたという評価をいただきました。

英語劇は、演技だけでなくメッセージ性や発音も重要なポイントになります。日本語でセリフを言うのも大変な中、英語での発音に注意し、観客に訴えかけるためには、かなりの練習を積み重ねてきました。部員は、演じたあと、やりきった満足感を味わっていました。

演劇の部

演劇の部は、11月6、7日の2日間に渡り、大田区民プラザ大ホールにて開催されました。今年度は、11校の参加があり、各校特色のある演劇を上演しました。

本校は、2名の演劇部と音響係の3名で出演しました。演目は蓮中祭でも上演した「明日二人だけのロミ&ジュリを」です。この劇は、本校と同じたった2人の演劇部が自分たちの劇を創り上げるまでのやり取りを描いたもので『友情』や『創造の大切さ』などをテーマとした劇です。

演劇は、役者・装置・照明・脚本・演出などすべてがひとつとなって展開される総合芸術です。本校の演劇部もこの日を目指し、稽古を重ねてきました。この日、部員は今までの中で最もよい出来栄でした。講師の先生からは、「安心して観られた」「二人で頑張ったね」などの評価をいただきました。

部員にとって充実した発表会になりました。

大田区立中学校連合美術展



11月7日(金)から13日(木)まで、池上会館にて中学校連合美術展が開催されました。区内28校の生徒が美術の授業で制作した作品を展示発表しました。実際に会場を訪れて作品を鑑賞しましたが、力作ぞろい、その素晴らしさに驚かされました。

本校からは、ポートフォリオ(1年室内画(2年)切り絵(3年))を出品し50点を超える作品の展示をしました。ここでも、中学生の力の無限さとこれからの可能性を強く感じることができました。

3学期の本校での展示発表が楽しみです。